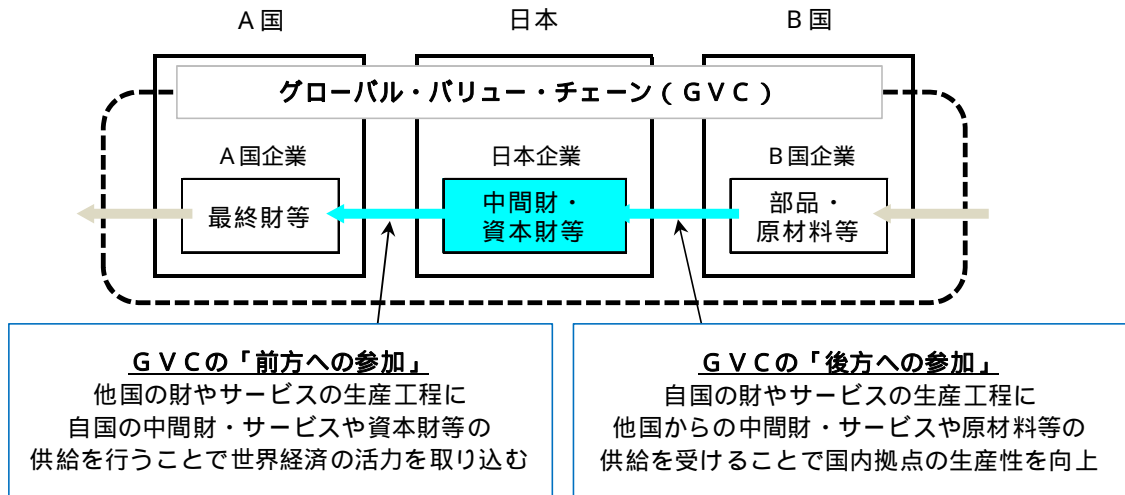


第2節 グローバル市場と我が国産業の課題

- 比較優位の変化に対応して外で「稼ぐ力」(付加価値を生み出す力)を強化していくため、企業は、国内外の生産工程を見直し、複数国にまたがって財やサービスの供給・調達を行い、グローバル・バリュー・チェーン(以下「GVC」)を構築
- GVCへの参加度を高めることで、企業が国内外の生産工程を最適化して、「稼ぐ力」(付加価値を生み出す力)を高め、世界経済の成長を一層取り込みやすくしていくことが重要

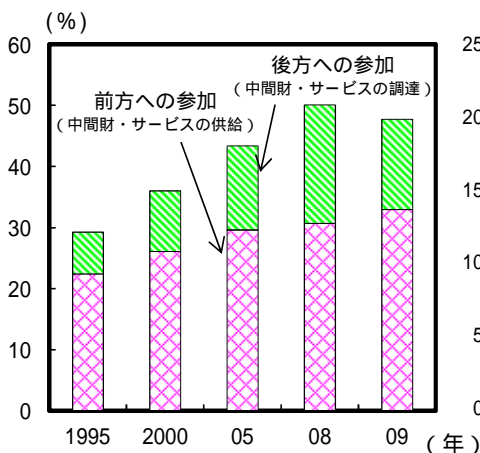
第3-2-1図 GVCを通じたグローバル市場への参画(イメージ)



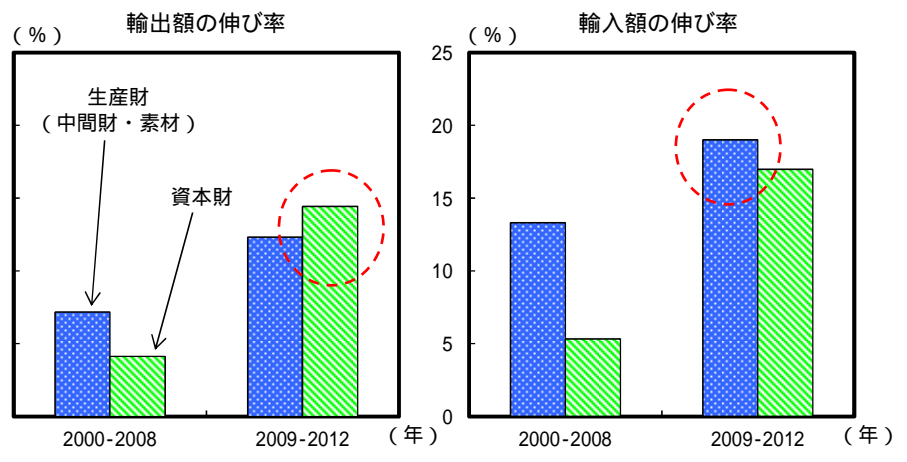
(備考) OECD(2013)等により作成。

- 部品や原材料等の中間財・サービスの供給・調達によるGVCへの参加度は、上昇傾向。相対的に、前方への参加度が高いが、後方への参加度も上昇傾向
- 中間財・サービスだけでなく、生産設備や業務用機械等の資本財の供給・調達を通じて、GVCへの参加度を高めていくことも重要。我が国は、比較優位の変化に対応して、生産財(中間財・素材)を中心に輸入を増やす一方、資本財の輸出を強化

第3-2-2図 (1) 中間財・サービスの供給・調達によるGVCへの参加度



第3-2-3図 財の種類別にみた輸出入額の伸び

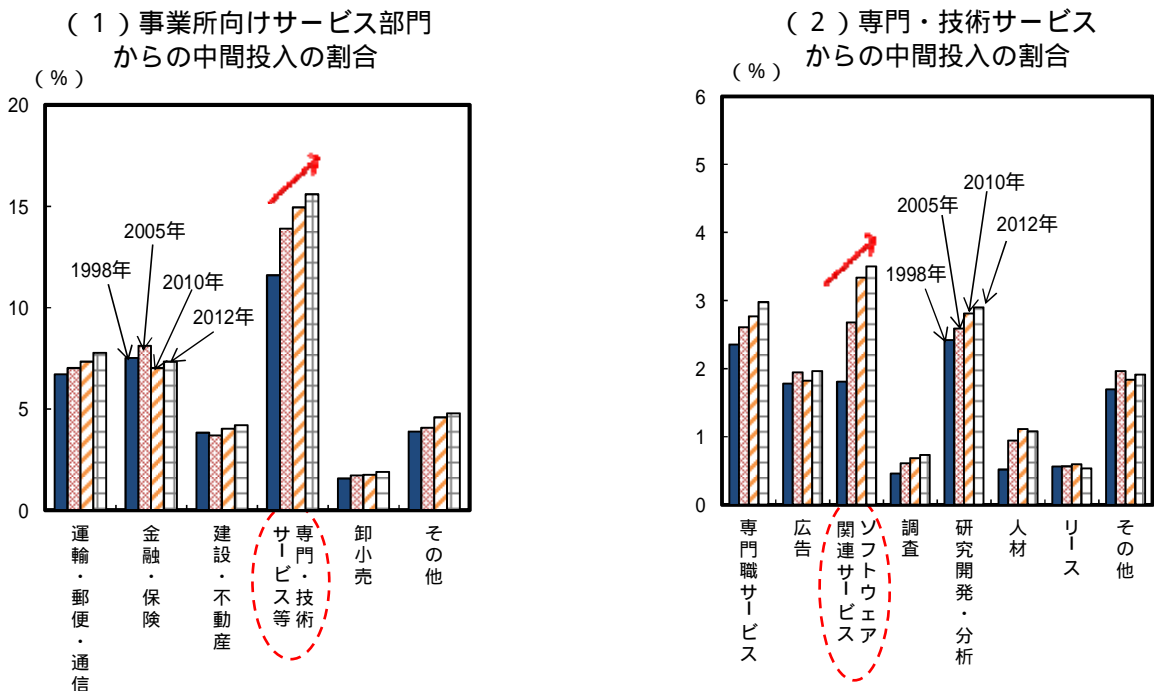


(備考) 1. (左図) OECD "Global Value Chain Index", (中・右図) 経済産業研究所「RIETI-TID 2012」により作成。

2. (左図)の「前方への参加度」は、他国の輸出財・サービスの生産に中間投入として使用されている自国の輸出財・サービスの金額が、自国の輸出総額に占める割合を表す。また「後方への参加度」は、自国の輸出財・サービスの生産に中間投入として使用されている他国の輸入財・サービスの金額が、自国の輸出総額に占める割合を表す。

- 企業は、事業所向けサービス部門への生産活動の外部委託を進めるとともに、中核的な事業活動への特化を図ることで、生産性の向上、製品・サービスの高付加価値化を実現
- これまでのところ、我が国企業はICT関連サービスを中心として外部化を進めている

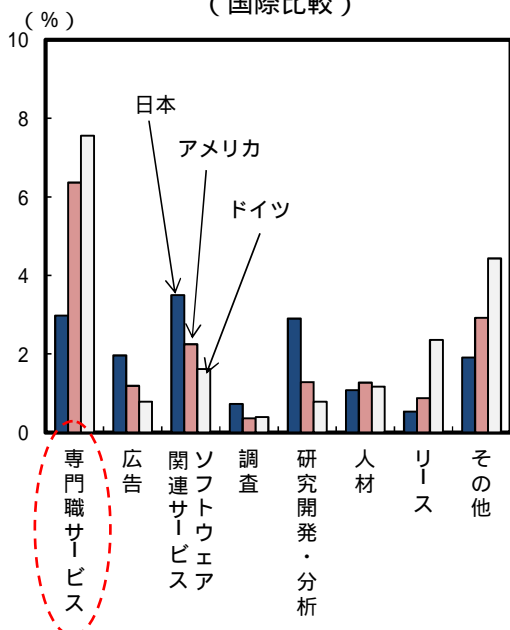
第3-2-8図 事業所向けサービス部門からの中間投入が付加価値に占める割合



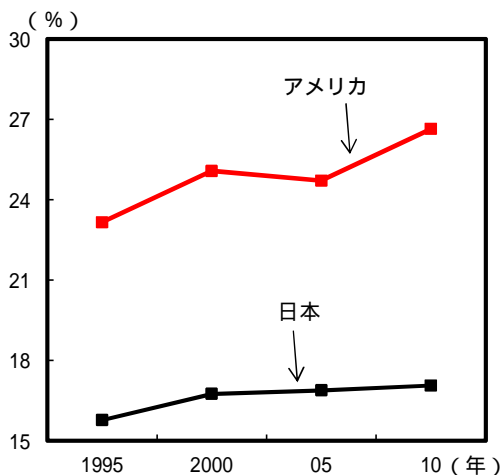
(備考) Euromonitor International 2014 により作成。

- 日本はアメリカやドイツに比べ、コンサルティング・会計・法務等の専門職サービスの活用に遅れ。今後、専門職サービスの活用を進め、企業の組織改革や新陳代謝の促進につなげていくことも重要
- 製造業企業は、業務の外部化を進めるだけでなく、内部でもサービス化を進めている

第3-2-9図(2) 専門・技術サービス等からの中間投入が付加価値に占める割合 (国際比較)



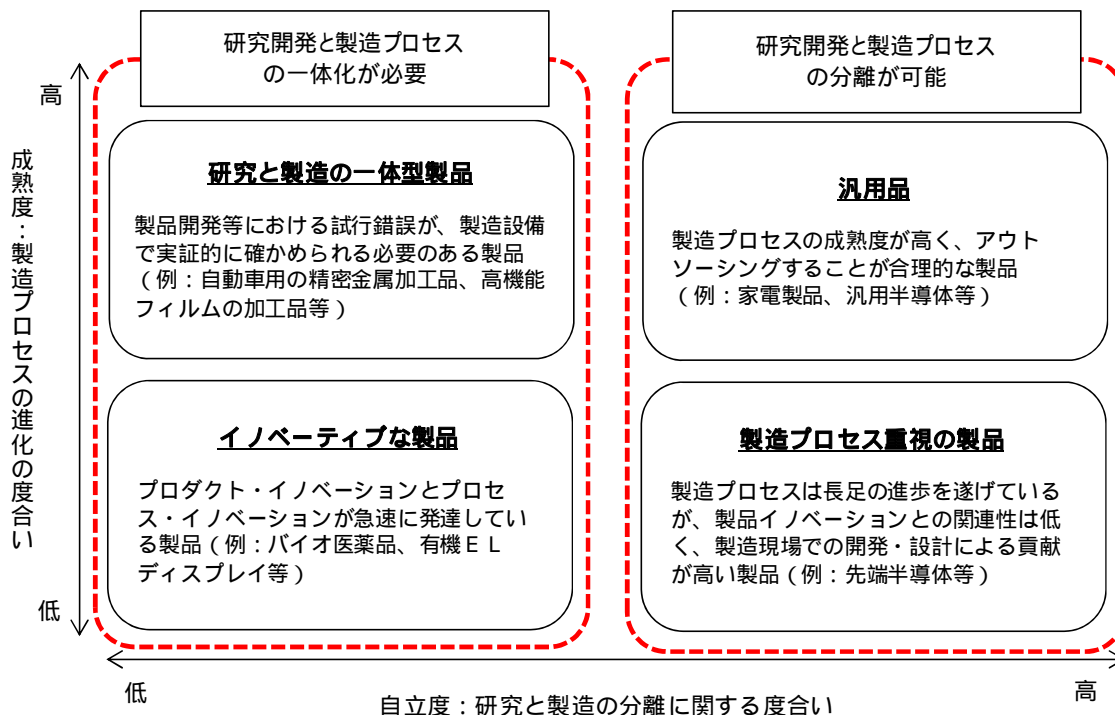
第3-2-10図 製造業従事者に占めるサービス関連従事者の割合



(備考) (左図) Euromonitor International 2014、(右図) 総務省「国勢調査」、Bureau of Labor Statistics “Employed persons by industry, sex, race, and occupation” により作成。

- 研究と製造の一体型製品やイノベティブな製品については、製造業とサービス業の柔軟な連携を深化させ、研究開発と製造プロセスを国内で一体的に行うことが有効

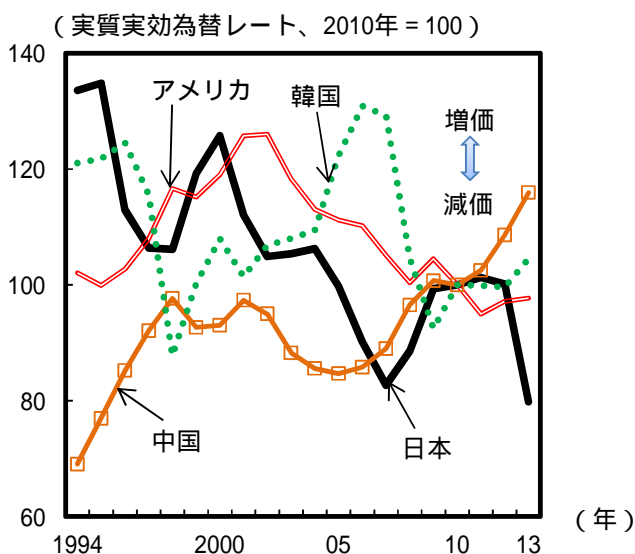
第3 - 2 - 11 図 製造プロセスの成熟度と自立度のマトリクス



(備考) Pisano and shih (2012)、中村 (2013)、松村 (2013) 等により作成。

- アメリカでは、価格競争力の上昇に加え、自国内の製造拠点を再評価する動き等を背景として、生産拠点到国内回帰の動き
- 2012年以降、円安方向への動きを背景として、日本の実質実効為替レートは低下し、価格競争力も上昇。R & Dと製造プロセスの近接性が高まる形で、製造拠点到国内回帰が強まる可能性

第3 - 2 - 12 図 (2)
実質実効為替レートの推移



(備考) (左図) IMF "International Financial Statistics"、BIS "Effective Exchange Rates" により作成。
(右図) U.S. Department of Labor "THE EMPLOYMENT SITUATION" により作成。

第3 - 2 - 13 図
アメリカの製造業雇用者数の推移

